



幸福な田舎の
つくりかた

金丸 弘美

学芸出版社

表紙を飾るおばちゃんの様子がこの本の全てを物語っている。

著者の金丸さんは佐賀県唐津市の出身で、最初にお会いしたのは、平成18年に平戸・松浦地域の特産品開発の人材研修の講師をお願いした時である。きっかけは、平成17年に佐賀県の地域の食文化の発信のためのネットワーク「オリザジャポニカクラブ」を立ち上げられ、唐津の学校や地元での食育や地産地消の取り組みをされていることを知ってからである。

金丸さんは食環境ジャーナリストとして、全国各地の食をテーマとした地域活動取材し全国に発信していくというだけでなく、地域の伝統的な料理、農業から漁業など食に関わる様々な人たちとの交流を通じて、地域の人たちが自ら活力を生み出すための企画や事業の支援にも取り組んでおられる。

今回の著書では、これまでの全国の実践的な事例のなかから、3つのテーマをもとに9件の取り組みが紹介されている。

1つは、「ないもの探しから、あるもの磨きへ」の事例2件、山形県鶴岡市の在来作物の見直しをきっかけとした取り組み、熊本県阿蘇市の阿蘇一宮門前町商店街の取り組みである。

2つめは、「ローカルを発信する、ユニークさが共感を呼ぶ」の事例3件、山口県萩市の「道の駅萩しーまーと」、高知県の四万十市「四万十ドラマ」と「県庁おもてなし課」。

そして、農業、観光を通じた「人と人をつなぐ、農村と都市をつなぐ」の事例4件、愛媛県今治市の直売所「さいさいきて屋」、島根県雲南市「JA雲南」、群馬県昭和村「野菜くらぶ」、長野県飯

田市「南信州観光公社」、以上の9地域が紹介されている。

冒頭にも触れられているが、従来のやり方を脱しながら、地元の人が地域の豊かさを自ら発見し、地域の財産として、これを生かしてきたプロセスに焦点が当てられている。

そこには必ずといって良いほど、人と人との出会いがあり、地域の気づきや、足元を見直すというプロセスがある。これは取り上げられた地域だけの特殊解ということでは決して無く、全国どんな地域でもその可能性を持っているはずである。そのことを伝え、そういうノウハウを少しでも習得してもらいたいという著者金丸さんの思いが伝わってくる本である。

(山辺 眞一)

お知らせ

■ 四国遍路を歩いた時の写真や説明を100枚以上載せたHPを開設。道・宿・食事・接待などなど・・・是非ご覧ください。

<http://otikoboreryu.jp/> (糸乗 貞喜)

■ 例年は1月4日から平常営業とさせていたできておりましたが、今年は1月7日(月)からとさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(よかネット所員一同)

よかネット No. 109 2013.1

(編集・発行)

(株)よかネット

〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3番8号
福岡パールビル8階

TEL 092-283-2121 FAX 092-283-2128

<http://www.yokanet.com>

mail:info@yokanet.com

(ネットワーク会社)

(株)地域計画建築研究所

本社 京都事務所 TEL 075-221-5132

大阪事務所 TEL 06-6942-5732

東京事務所 TEL 03-3288-0240

名古屋事務所 TEL 052-202-1411

(株)地域計画・名古屋